

市内各地で山開き！新緑の美しい山を楽しむ（5月3日）



5月3日には多紀連山と弥十郎ヶ嶽、11日には大野山で登山イベントが開催されました。市内最高峰の御嶽(793m)を主峰とする多紀連山では、市内外から76人が登山に参加。絶好の登山日和となったイベント当日、参加者たちは新緑さわやかな登山道を進み、シャクナゲの生育地や絶景ポイントでは写真を撮るなど、景色を楽しみながら山頂をめざしました。



にしきシャクナゲまつり（4月19日）

今年もシャクナゲ公園で開催された、にしきシャクナゲまつり。シャクナゲは世界の花木のうちで最も美しい花が咲くグループの一つといわれており、まつりでは色とりどりのシャクナゲが訪れた人々を魅了しました。また、西紀中学校吹奏楽部の演奏や地元団体のステージのほか、バザーや洋シャクナゲの植樹などさまざまなイベントがあり、思い思いに楽しむことができるまつりとなりました。



学校給食で篠山まるごと丼（5月9日）



市内の学校園で「篠山まるごと丼」が給食として提供されました。丹波篠山産の農都のめぐみ米、山の芋、牛肉などが使用された「篠山まるごと丼」を食べた子どもたちは「山の芋が甘かった」「お肉が柔らかくておいしかった」と話してくれました。

認定新規就農者に家治川和さん（4月18日）

家治川和さん(小枕)が、新たに認定新規就農者に認定されました。家治川さんは、有限会社みたけの里舎で4年間従事された後、祖父の高齢化に伴い、自分が地域の農業を守りたいという思いから、実家の農業経営を継承されました。「農業の魅力は達成感。作業は大変ですが、秋の収穫が楽しみだから日々頑張れます」と笑顔で話されました。



丹波杠氏自醸酒酎酒会（4月15日）



第104回丹波杜氏自醸酒酎酒会が、丹波杜氏酒造記念館で行われました。普通酒44点、純米酒61点、吟醸酒59点の計164点が出品され、大阪国税局鑑定官室鑑定官室長などの審査員5人が香りや味わいを評価しました。

とっておきの音楽祭（4月26日）



「みんなちがってみんないい」を合言葉に、障がいのある人もない人もみんな一緒に音楽を楽しむ祭典であるとっておきの音楽祭。今回で記念すべき10回目を迎え、当日は多くの人と一緒に歌ったり踊ったりして音楽を楽しみました。

河合岳雄さんからの寄付（4月25日）



故 河合岳雄さんの長男・河合岳雄さんから丹波篠山ふるさと応援寄付金を受領しました。河合雅雄さん、隼雄さんのご兄弟 迪雄さんは丹波篠山の桜を深く愛しておられたことから、桜の保全に役立ててほしいと寄付され、岳雄さんは「父も喜ぶだろう」と笑顔で話しました。



「ためる！使える！でかんしょポイント」



丹波篠山ブランドの 市民認知度調査

丹波篠山市は日本や世界に誇れるブランドがいくつもある魅力あふれるまちです。貴重な地域資源の保全、活用に向けて魅力あるまちづくりを進めるため、丹波篠山ブランドに関するアンケートを実施します。

期限 6月20日(金)

回答者から抽選で5人に中森俊介投手(千葉ロッテマリーンズ)の直筆サイン入りタンブラーなどをプレゼント！



※先着1000人限定。

★詳しくは、6ページをご覧ください。

